



## ダイレクトクール/取扱説明書

### 目次

- 
- 注意事項 ..... 1
  - 各部位名称 ..... 2
  - 仕様 ..... 3
  - ご使用方法 ..... 4~5
  - 各部品の取り外し方 ..... 6~7
  - お手入れの仕方 ..... 8
  - 構造部説明 ..... 8
  - memo ..... 9~10
  - サービス・保証 ..... 11

製品問合せ先

株式会社 **山善** 家庭機器事業部 0120-069-060 (AM9:00~PM5:00 土・日・祝を除く)

※製品の仕様は改良のため、予告なく変更されることがあります。



警告

安全のため 必ず この取扱説明書をよくお読みください。本製品の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

## 注意事項説明

### ■ DIRECT COOL 注意事項

- 内容品に記載している以外の物は付属しません。
- 異常を感じたらご使用をやめて弊社までご連絡ください。
- ご使用されていない期間においての保管・水抜きなどのお手入れはお客様の責任で行うようお願い致します。水を抜かない状態で保管した際のトラブルについては弊社では責任を負いかねます。

### 使用上の注意

- 使用中、体に異変が起きた場合はすぐに使用を中止してください。
- 次のような方は使用しないでください。  
  - 冷たさを自覚できない高齢者、子供、幼児 ○循環器系疾患のある方(糖尿病・狭心症・高血圧・低血圧等)
  - 妊娠中または妊娠している可能性のあるの方、出産直後の方(医師にご相談の上ご使用ください。)
  - 体調不良や身体に異常を感じている方 ○アレルギー体質の方や皮膚の弱い方、肌に湿疹や傷がある方
  - 自ら意思表示ができない方や操作ができない方 ○医療機関で治療中の方
- 幼児の手に届くところに置かないでください。
- 水を入れない状態でポンプを回し続けないでください。
- バッテリー・ポンプ・ケーブルに水をかけたり水の中に入れないでください。
- ケーブル端子は根元まで差し込み、傷んだケーブル端子やケーブルは使わないでください。
- 濡れた手で操作、ケーブル端子の抜き差しはしないでください。
- タンクに水、チャージボトル、凍ったペットボトル、氷を出し入れする際は、ケーブル端子をバッテリーから抜いてから行ってください。
- 落下などの強い衝撃を与えないでください。
- ドライアイスや熱いお湯等、水と氷以外のものはタンクに入れないでください。
- 火気近くで使用しないでください。
- タンクを直接凍らせないでください。
- タンクにお湯を入れないでください。ポンプが破損する場合があります。
- 冷えたパイプが肌に直接触れないよう、必ず衣服の上から着用してください。
- 就寝時に使用しないでください。
- 泥酔や体の感覚が鈍くなっている際のご使用は控えてください。
- 用途以外の目的で使用しないでください。

### リチウムイオン電池 注意事項 《使用上の注意》

- 蓄電池の漏液、発熱、発煙、発火を未然に防ぐため以下の内容を必ず守ってください。  
  - 蓄電池に切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
  - 蓄電池を電子レンジに入れたり、高压容器に入れるなど過熱、高压を与えないでください。
  - 蓄電池が漏液したり、悪臭がするときは直ちに火気より遠ざけてください。
  - 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
  - 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭を発したり、発熱、変色、変形その他今までと異なることに気がついたときは、電源をオフにする、あるいは充電をおやめください。
  - 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
  - 外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
  - 蓄電池を直接、コンセントや車のシガレットコンセントに接続しないでください。
  - 充電作業は必ず屋内で行い、高温、多湿を避け、水がかからない場所で行ってください。
  - 充電の際に所定の充電時間を大幅に超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
  - 蓄電池を電子レンジに入れたり、高压容器に入れるなど過熱、高压を与えないでください。
  - 蓄電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により目に障害を与える原因になります。
  - 蓄電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
  - お買い上げ後、初めて使用する際、さびや異臭、発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買い上げの販売店にご持参ください。

## 各部位名称

### ■本体(背面)



### ■本体(前)



### ■本体(内側)



### ポンプ



### 保冷仕様



### タンク



### チャージボトル



## 仕様

## DIRECT COOL

※記載の数値はご使用の環境や状況により異なります。

## 推奨バッテリー

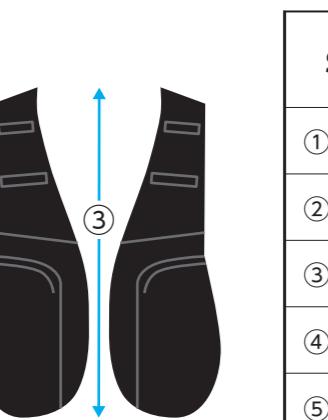
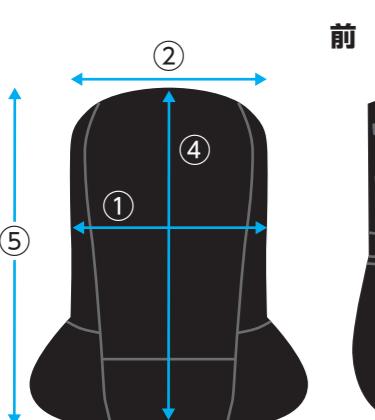
## ■本体

ウェア素材	表地/ナイロン 裏地/ポリエステル	冷却部仕様	Peva/PE綿/スポンジ
タンク材質	TPU	冷却ホース	シリコーンゴム

## 対応バッテリーについて

市販のモバイルバッテリーが使用可能です。5V2.0~3.0Aのバッテリーをご使用ください。  
また出力電圧・電流が合致していても、相性の問題で使用できない場合があります。

## 寸法



SIZE	フリー S~5L相当
①胸囲	80~130cm
②肩幅	28cm
③着丈	44cm
④前着丈	40.5cm
⑤後着丈	42cm

## ご使用方法

## 本体の準備



タンクポケットを開け、スライドクリップ部を取り出してください。



タンクのスライドクリップを外し、約200mlほどの冷水を入れます。



凍ったチャージボトルを入れ、タンクをスライドクリップで固定します。メッシュポケットに保冷剤などを収納できます。



タンクポケットを閉めます。

## 凍ったペットボトルを使用する場合

タンクがチャージボトル用で大きいため、タンク内でペットボトルが斜めになる場合があります。斜めになると循環した水がペットボトルにしつかり当たらなかったため冷却効果が薄れてしまいます。

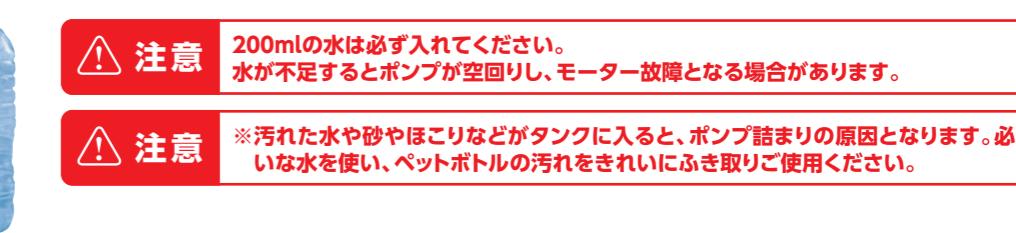
## 一ペットボトルをご使用する場合のワンポイント

- 細めのペットボトルを2本入れる
- ペットボトルがまっすぐ立つように保冷剤などを両サイドに入れ固定する

650mlまでのサイズ  
ペットボトルに対応650ml  
長時間小型ボトルで  
軽量

お茶・ジュースなど中身によって持続時間が若干異なります。

△ 注意 凍ったペットボトルを入れる場合は、厚みが出るためハーネスなどを使用しないでください。



△ 注意 200mlの水は必ず入れてください。  
水が不足するとポンプが空回りし、モーター故障となる場合があります。

△ 注意 ※汚れた水や砂やほこりなどがタンクに入ると、ポンプ詰まりの原因となります。必ずきれいな水を使い、ペットボトルの汚れをきれいにこき取りご使用ください。

## ご使用方法

## バッテリーの接続



ケーブル端子



ポケットにバッテリーを収納してください。

## モード切替スイッチの操作方法

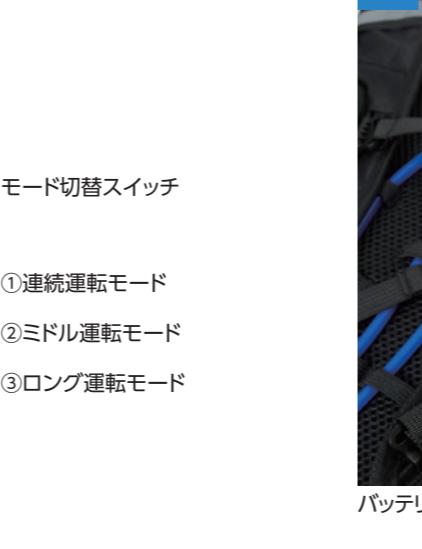
モード切替スイッチを押すと、電源が入り①連続運転モードのランプが光ります。  
モード切替スイッチを押すと、モードが切り替わります。  
ご使用シーンに合わせ変更してご使用ください。

- |           |              |
|-----------|--------------|
| ①連続運転モード  | ①連続作動        |
| ②ミドル運転モード | ②20秒作動-60秒停止 |
| ③ロング運転モード | ③20秒作動-80秒停止 |

※バッテリーとの接続を維持するため、停止中も僅かに動作します。



※写真は開発段階のデザインとなっています。



## 各部品の取り外し方



バッテリーを取り出し、ケーブル端子を抜いてください。



図のようにケーブルを引き抜いてください。



ポンプポケットを開いて、ポンプを取り出します。



ポンプから2本のチューブを外してください。



ポンプとケーブルをポンプポケット側からゆっくり引き抜いてください。(5-1, 5-2)



ポンプとケーブルをポンプポケット側からゆっくり引き抜いてください。(5-1, 5-2)

## 装着注意事項



5

※写真は開発段階のデザインとなっています。



2



着衣時に、肩部が裏返らない様ご注意ください。ホースが曲がり水が止まり故障の原因になります。  
前面のバックルのベルトや側面の調整ベルトとバックルを調節して身体に密着するようにしてご使用ください。

⚠ 注意 身体に密着していない場合、冷却効果が低減、または得られない可能性があります。



OUT: ポンプから全身のチューブに流れます  
IN: タンクからポンプに流れます

※バネが付いているチューブはOUT側に取り付けます

※写真は開発段階のデザインとなっています。

6

## 各部品の取り外し方



タンクポケットを開け、タンクを止めている固定バンドを外します。



タンク上部にあるチューブを抜き取ります。



タンクを抜き取ってください。



バッテリー・ポンプ・ケーブル・タンクを外しました。

7

※写真は開発段階のデザインとなっています。

## お手入れの仕方

### ベストの洗い方

- ①各部品の取り外し方を参考にバッテリー・ポンプ・ケーブル・タンクを取り外してください
- ②洗剤は中性洗剤をご使用ください
- ③ひかげ干しをし、水気を取ります
- ④完全に乾いてから各部品を取り付けてください

### 注意

- 手洗いで行ってください。
- ホース以外の全ての部品(バッテリー・ポンプ・ケーブル・タンク)を取り外してから洗ってください

### 定期的なお手入れ方法

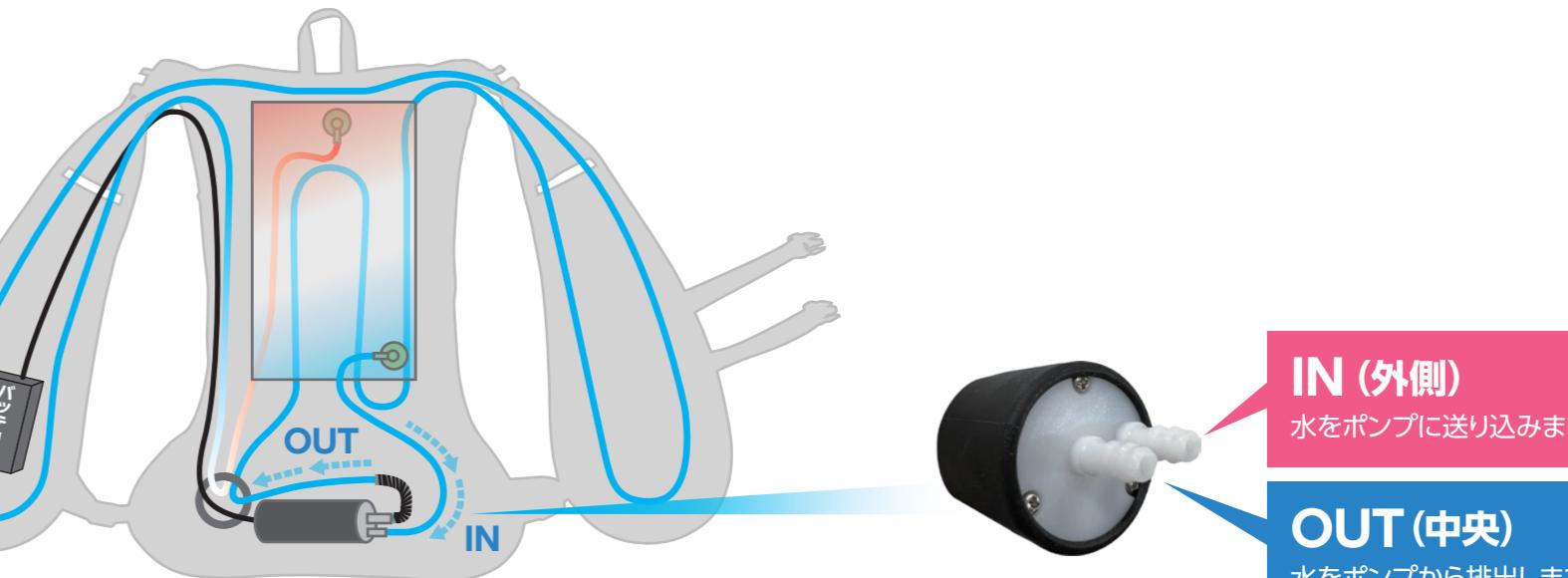
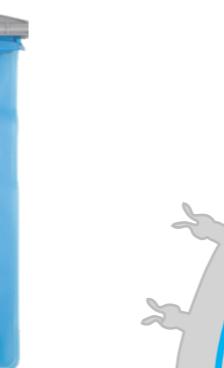
- ①本体の汚れを濡れタオルなどで拭き取ります。
- ②スライドクリップを外し、タンク内に空のペットボトルを入れます。
- ③ひかげ干しをし、水気を取ります。

### 注意

必ずバッテリーを外してからおなってください。

## 構造部説明

### タンク



### IN(外側)

水をボンプに送り込みます

### OUT(中央)

水をボンプから排出します

8

MEMO

MEMO